



Vol.105

今までのように突っ走るのか

市長のまちづくりにかける想いを市長の語り口でお伝えします。市HP「によげがもん」もぜひご覧ください。

1950年代後半、白黒テレビ、洗濯機、冷蔵庫が3種の神器と言われていました。しかしそれは、東京や名古屋といった大都会の話で、長久手村の我が家に初めて冷蔵庫が来たのは、遅れて10年近く経った頃でした。冷蔵庫が来るまで家で生モノを食べたことはほとんどなく、自家製の味噌と畑で作った野菜を和えた野菜中心の食生活でした。近所の家も含め、風呂はどこでも薪で沸かしていました。1970年の大阪万博には、エアコンが付いていない車で、「暑い、暑い」と言いながら、高速道路を走ったことを覚えています。

こんなに便利で快適な生活になったのは、76歳の私からすれば最近の話、ほんの50年ちょっとの間の話です。この間、日本は、便利さ、快適さを追い求めて突っ走ってきました。エネルギーを使えるだけ使って、次から次へと便利なものを手に入れ、自分にとって役に立たないもの、気に入らないものは、次々と使い捨てて、じっくりと一つのものに向き合うことが少なくなったように感じます。

これまでの便利さだけを追い求める暮らし方を、真剣に見直す時期に来ていると感じます。「自分にとっての便利さ」を一番の基準に選ぶのではなく、地球を守るためには、手間がかかったり、不便なことも受け入れていくことが必要ではないでしょうか。

子ども達を見れば、「良い成績」「良い学校」と追い立てられ、日々、塾や習い事など、次から次へと自分で考える暇もないほど、やることを与えられています。子どもらしく自由に発想して遊ぶ時間もないほどの忙しい毎日の中で疲弊し、自分で考え、行動する力を養う機会が奪われているように感じます。

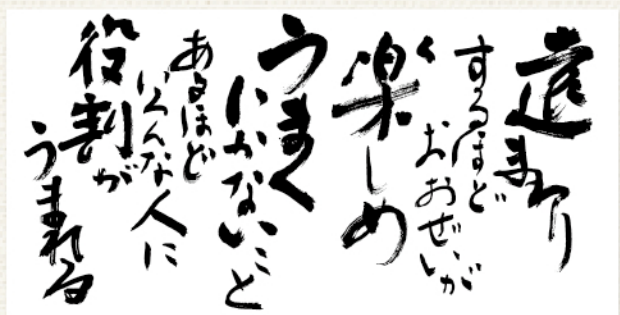
これまでの大量生産、大量消費の時代には、言われたことを、言われたとおりにやれる人材が必要だったのでしょうか。しかし、「人口減少」「少子高齢」という誰も正解が分からない難題に立ち向かう今、言われたことをやるだけの人材を育てるこれまでの教育の延長上では立ちゆかない時代になりました。

否応なしに立ち止まらざるを得なかったコロナ禍の3年間、そして最近のエネルギー不足の問題を経て、私達はこの50年間で初めて、正解がない時代を生きていく上で必要なことについて、腰を据えて考えられる機会を得たように感じます。

市長室には、私が書いた下の言葉が、掲げられています。

今までのように突っ走るのか。道草を許せる心を持つのか。

子ども達の教育だけでなく、大人達のこれまでの考え方を変えることが、求められていると思うのです。



ふれあいつながりみんなが楽しむまちづくり  
**西小学校区まちづくり協議会**

「西まち防災」作成しました!

◆今年度、災害時の地域のルール作りや啓発活動を行う『防災委員会』を立ち上げ、地域の防災の情報を伝える「西まち防災」を作成しました。防災アドバイザーの川口先生の講演内容や災害時の備蓄、地域の避難所の情報などを掲載しています。ご意見ご要望がありましたら下記までお寄せください。



問 西小校区共生ステーション ☎64-5331  
✉ nishi.no.machikyo@gmail.com

イチーすマイルトリア **市が洞小学校区まちづくり協議会**

2月の主なイベント案内

- 第2回地域防災ローカル会議  
2月19日(日)10:00～ 市が洞小学校体育館にて開催します。今回は、防災講習会をメインとし、小学校に設置の飲料貯水槽の取扱い要領の確認などを予定しています。(約60人予定)
- 障がいのある人たちとの交流支援連絡会  
2月3日(金)市が洞小学校区共生ステーション会議室にて開催します。
- “子どもウォークラリー”(PTA主催)  
助けを求め、駆け込める“こども110番の家”を通学路中心に子どもたちが歩きながら確認します。

問 市が洞小学校区共生ステーション ☎61-5914

ご近所で「いつもと違う」と気づいたときはお電話ください  
**長久手市地域見守り安心ほっとライン**  
☎0561-63-5556 (24時間 365日受付)

広報ながて について この広報紙の無断転載を禁じます。視覚障がい者のみなさんにも家族から読んであげてください。  
この広報紙は、植物油インキを使用しています。  
UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。